

発行／社会福祉法人白根学園 発行責任者／三木 健太
住所／横浜市旭区白根7-10-6 Tel.045-951-2669 Fax.045-951-7773

2021
September

Vol.
52

9

月号



◆ホームページはこちら
<http://www.shirane.or.jp>



学園長からのメッセージ

学園長 飯山文子

7月1日付で学園長に就任いたしました、飯山文子です。白根学園では、初代名誉園長は別格として、初めて現場出身で学園長という大役を務めることになりました。

白根学園で働くようになって27年目になりますが、この間、楽しかった時も、また苦しかった時も、常に利用者さん達がそばにいて、行くべき道を指し示してくれました。その道程は、保護者の皆様、地域の皆様をはじめとする多くの関係機関の皆様からの支えを受けながら、共に働く職員たちと悩み、考え、語り合い、時にはぶつかり、時には共感しあい、本当に無我夢中だったように思います。そしてこの度学園長として、更なる役割を与えられ、気持ちも新たに、白根学園と向き合い始めたところです。

折しもこの原稿を書いている今、新型コロナの爆発的感染のさなか、オリンピックが開催され、一方で、神奈川県にも緊急事態宣言が発令されるという、ちぐはぐな世の中になっています。選手たちの熱いプレーには心底感動しながらも行動は自粛を、と、心の動きとは真逆な行動するよう求められており、こんな状況が続していくと、人間の心理状態はどうなっていくのだろう、

その後にはどのような世界観が待ち受けているのだろうか、と不安を覚えます。しかし、これまででもそうであったように、これからも、歩むべき道は利用者さん達に指示示されるのだと思います。

これからも皆様に支えられながら、これまで以上に、利用者さん達の指す方向はどこ？何を示しているの？と、利用者さんに直接聴くのは勿論のこと、一番近くで利用者さんの生活を支えてくれている現場の職員たちと、これから社会福祉について、知的障害者支援について、沢山語り合い、議論をしながら、次の時代の白根学園を創っていく基盤整備を進めていきたいと思います。

今後とも皆様の厳しくも暖かいご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。



もくじ

- | | | | |
|---|-----|------------------------------|---|
| 〔学園長挨拶〕学園長からのメッセージ | 1 | 〔社会就労センターしらね〕「たんぽぽ七夕」を行いました！ | 6 |
| 〔ホーム歩〕石川施設長からあいさつ【麦の丘】こんなパン作ってみました♪【しらねの里】/【げんき】2021年度納涼祭 | 2 ③ | 〔地域生活センター和〕お誕生日会 | 7 |
| 〔光の丘〕なつまつり【光の丘】ルーチェ新メニュー発売！
【ぶどうの実】楽しい夏休みが始まりました！！！ | 4 ⑤ | 〔希望〕施設接種【希望】相談室紹介 | 8 |
| | | 〔法人本部〕新採用職員対象「権利擁護職員研修会」の開催 | |
| | | 【しらねの里】編集後記 | |

ホーム歩

石川施設長から あいさつ

この度、2021年7月1日より「ホーム歩」「相談支援センターコンシェル」の施設長を拝命いたしました石川富士夫と申します。

私が白根学園に入職したのは、今から27年前になります。児童寮(現ぶどうの実)からスタートし成人寮(光の丘)、しらねの里、そしてホーム歩と経験を積ませて頂きました。その経験の中で、移行期(児童が成人へと成長していく時期)の重要性をひしひしと感じていました。歩はその移行期の利用者を中心に支援しています。とても大変でやりがいのある仕事だと感じています。歩を卒業し、笑顔で社会へ羽ばたいていくよう努めてまいりますので、皆様のご支援とご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。



※7月1日より自立サポートセンター歩は宿泊型自立訓練事業を廃止し、ホーム歩の共同生活援助事業所に変更しております。今後も皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

ホーム歩/相談支援センターコンシェル 石川 富士夫



麦の丘では月に一度、風の丘の利用者さんが余暇で食べる菓子パンを作っています。例年ですと既製品のパンを販売しているのですが、コロナ禍で利用者さんが少しでも楽しめる様にしたい!と依頼を受け、今年度は色々なパンを作成しています。

今回は風の丘から頂いた依頼を基に、麦の丘に通われる利用者さんから出た「たこ焼きパン」を具現化し、麦の丘の職員から出た「小さいパンの詰め合わせにした商品。それらを一つにし考案したのがこの「ぱっちむぎ」です。

小さなパンが6種類入った商品です。見た目に違いが出る様にゴマ・けしの実で包んだりしています。5種類は麦の丘で常時販売している「こしあんパン・つぶあんパン・くるみパン・カレーパン・クリームパン」と、新作のたこ焼きパンを入れた6種類です。

外部に販売するための容器に巡り合えず商品化には至っていませんが、本誌が発行される頃には、販売できていると思います!ご興味を持たれた方はぜひご賞味ください。

麦の丘 石黒 究人



麦の丘では
パンのご注文を承っております。
お気軽にお問い合わせください。

045-952-3060



しらねの里/しらねの里・げんき

2021年度

納涼祭

今年もコロナウイルス蔓延防止に配慮し屋内で開催されましたが、利用者のみなさんは焼きそばや唐揚げ・ポテト、選べるアイスなどを嬉しそうに召し上がった他、輪投げや紐引き、スイカ割りを楽しそうに行っていました。今年の納涼祭もみなさん夏気分を味わいながら嬉しそうに参加しました。

しらねの里 石田 さくら



げんき単独の納涼祭も2回目。ちょうどんの数も増え、華やかさも増しました。グループを2つに分け、午前・午後入替制で開催。1階は懐かしい納涼祭の写真を、大画面で見ながら思い出話に花を咲かせました。

2階は盆踊り会場。特製のお神輿を囲んで、曲が流れれば自然に体が動き出す。皆さんしっかり踊られ、お昼は美味しい屋台メニューに笑顔満点。これで、今年の暑い夏もがんばれそうです。

しらねの里・げんき 大政 江利





今年のなつまつりは光の丘単独での開催となり、密や不特定多数との接触を避けられるよう「ゲームコーナー」「盆踊り会場」とブースを分け、グループごとに順番に回る等感染対策を十分に取っての開催となりました。いつもと少し違うなつまつりでしたが、いつもと変わらない皆様の笑顔が見られたことが何より嬉しく思います。

光の丘 早坂 健快

ルーチエ新メニュー発売!

光の丘

8月11日(水)より、ルーチエから新レギュラーメニューが提供されます。まずは新軽食メニューとしてイングリッシュマフィンを使用したマフィンピザをご紹介させて頂きます。トマトバジルとモッツァレラチーズが美味しい「マルゲリータ」、わさびマヨがピリリと効いた「和風シラスピザ」、4種のチーズの贅沢な味わい「クワトロフォルマッジ」、ルーチエ創業の味「ツナメルト」、甘しそうな美味「あんクリーム」の計5種類のマフィンピザが提供開始となります。お値段は1枚200円となります。

次に就労のぞみとコラボレーションし実現したふんわりとしっとりが同居した絶品ケーキ「ふわしとカフェケーキ」も同日に提供開始となります。お値段は一皿250円となります。ピザマフィンもカフェケーキもスタッフが皆様に美味しい物を提供したいとの思いから誠心誠意試作を繰り返し、今日の提供を迎えたので、是非、ご賞味下さい。

光の丘 ルーチエ 長谷川 朋宏



楽しい夏休みが 始まりました!!!

ぶどうの実

今年も楽しみにしていた夏休みが始まりました。

コロナ禍で大規模なイベントは開催出来ませんがさっそく楽しみにしていた「ぶどうの実夏祭り」が開催され利用者さんも職員も一緒に楽しむ事が出来ました。

まだまだ夏休みは始まったばかりです。プール、ユニット外出、花火、ドライブと楽しみにしている予定が様々あります。

夏休みの楽しい思い出を作りましょう!!

ぶどうの実 高橋 一輝



「たんぽぽ七夕」を行いました!

社会就労センターしらね



2021年7月7日に利用者自治会主催で「たんぽぽ七夕」を行いました。

前日は七夕にちなんだきらきらスイーツを食べました。みなさん「かわいい！」や「おいしかった！」と見た目がきれいなデザートを名残惜しそうに食べられていきました。

当日には願い事を書いた短冊を笹に飾り、「きれいだね！」と自分の願いが叶うことを祈りながら記念撮影をしました。

コロナが収まって、みんなで行事が出来ますように。

社会就労センターしらね 仲宗根 海樹



連日の蒸し暑さに夏バテ気味の今日この頃ですが、皆様お変わりありませんでしょうか。

コロナの影響で思うように外出や行事ができない状況ですが、和では、ホームでできる楽しみの一つとしてお誕生日会を各ホームで行っています。例年であれば、外食や利用者さんと一緒に食べたい物を横浜駅周辺へ買い物に行くなど、普段ホームでなかなか食べる事ができない食事をされて皆様楽しまれているのですが、コロナ禍に対処して、出前や職員が購入するなど、できる限り利用者さんのご要望に応えられるように工夫をしています。

年度末に実施する予定だった和パーティーで着る為に準備していたドレスを着用する方や、通所先でお仕事をがんばるなど抱負を発表して下さる方など、お誕生日の主役の方はとても楽しそうに参加していました。寿司・チキン・うな重・アイスケーキなど主役の方の大好きな物を注文して、プレートに「おたんじょうびおめでとう」とチョコペンで書くのに試行錯誤するなど準備の段階から職員も楽しんでできました。

コロナ感染が落ち着いたら、また以前のように外食や外出がしたいと皆様おっしゃっていました。

地域生活センター和 山野 みさき 田中 清久

施設接種



普段からお世話になっている汐田総合病院の医師、看護師の方にワクチン接種をしていただけたことが決まり、6月28日から順次接種が始まりました。



接種当日は、職員付き添いの下ユニットごとに接種を進めました。

受付が終わったら、医師による問診を行い、体調面等問題がないか確認を行いました。

接種時は、椅子に座るだけでなく横になって接種できるようにする等、出来る限り利用者さんの不安な気持ちを和らげるよう職員間で努力しました。

接種後は、15分から30分程度らしく内で待機し、副反応がないか確認を行いました。

8月2日(月)に希望者全ての接種が終わりました。

まだまだ予断を許さない状況ではありますが、少しずつコロナ前の普段通りの生活が近づいているように思います。一日も早く、保護者の皆様が気軽に来園したり、利用者さんが外泊したりできる日が戻ることを願っております。

希望 佐藤 賀



希望 相談室紹介



コロナ禍の二度目の夏となりましたが、皆様いかがお過ごででしょうか。希望では、2021年7月より、指定特定相談支援事業所「希望相談室」を開所しております。

鶴見区は人口増加が著しく、障害者手帳取得率も横浜市内でとても高いものの、ご利用者様の生活プランの組み立てやサービスのご紹介、意思決定のお手伝いをさせていただく相談支援事業所が少なく、かねてから地域や関係機関の皆様からご要望をいただいておりました。今後は鶴見区にお住まいのみなさまへの相談支援事業の普及とともに、地域貢献をしていかなければと考えております。

相談室事務所は鶴見駅東口より徒歩5分の場所にあります。お気軽にお立ち寄りいただけるようなやさしい空間づくりを目指し、現在急ピッチでバタバタと準備中です。このコラムがみなさまのお手元へ届くころには、イメージ図のようにできあがっているといいのですが…。

相談員は兼務1名、専任2名からのスタートです。みなさまどうぞ、よろしくお願ひいたします。
専任相談支援専門員 吉田 秀人(ホーム希望より異動) 井上理沙(希望より異動)



新採用職員対象 法人本部 「権利擁護職員研修会」の開催

7月12日(月)と7月26日(月)の2回に分けて、新採用職員を対象にした「権利擁護職員研修会」が開催され、新人職員が18名参加しました。講師は昨年に引き続き平本譲先生です。

白根学園の「基本理念」や「社会福祉が目指すもの」などについての講義の後、ビデオ視聴やグループワークなどをを行い、平本先生もグループに入り、職員と一緒に議論を重ねました。障害者に対する偏見や「津久井やまゆり園」事件の背景にあるものなどについて、ワークを行い、グループで議論を進めました。

アンケートでは、「他事業所の職員と議論ができ、様々な考え方を知ることができて良かった」、「今日の研修を何度も思い返して利用者と接していくきたい」などの意見がありました。

権利擁護研修の今後の予定は、コロナ禍により昨年度中止になった中堅職員向けの「インシデントプロセス研修」などを実施する予定です。白根学園は、今後も権利擁護研修に力を入れていきます。

法人本部 企画部長 山出 一正



編集 後記

何度も繰り返してきたか【コロナ】という言葉や文字を…。そんなコロナ禍の中、日本ではオリンピックが開催され、白根学園では季節ごとの行事を予定しています。「出来るだけ安全に」「出来るだけ楽しく」と職員1人ひとりが知恵を絞り、案を出して実施しております。

今は夏、利用者さんの笑顔をたくさんご覧頂けたら嬉しいです。

しらねの里 斎藤 広征